

スメルハラメント



Avenir

2020 Feb.

- ・ ハラスメントとは？
- ・ スメルハラスメントとは？
- ・ 職場で気になるこんなにおい
- ・ 普段からできる取り組み
- ・ 会社ができる取り組み

ハラスメントとは？

日本語では「いやがらせ・いじめ」と定義されています。
意図的かそうでないかに限らず、**相手を不快にさせる
尊厳を傷つける、不利益を与える**
といった場合に使われます。

例えば…



セクハラ

パワハラ

マタハラ

イラスト：厚生労働省／あかるい職場応援団



アルハラ



スメハラ など

枠で囲われた部分は
対策を講じることが、法律により
事業主に義務付けられています。その他のハラスメント対策を義務付ける法律はありませんが、**スメハラ**の認知率は**45.8%**でありニオイケア意識は高まっています。しかし、職場での対策実施は**わずか1割**なのです。

引用文献：厚生労働省／パワーハラスメント防止法リーフレット

<https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000527867.pdf>

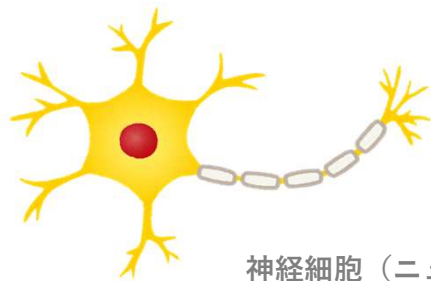
参考文献：マダム／男のにおい総研 においの調査と実態 職場編Vol5 PART1

<https://m-age.jp/smell/detail/11-01.html>

スメルハラスメントとは？

職場や交通機関といった人が集まる場所で、**においが原因で周囲に不快な思いをさせてしまう行為の事**です。

女性は臭いの情報をキャッチする**嗅球（きゅうきゅう）**の神経細胞（ニューロン）の数が**約43%男性より多い**ため、女性の方がよりにおいに敏感で関心が高い傾向があります。

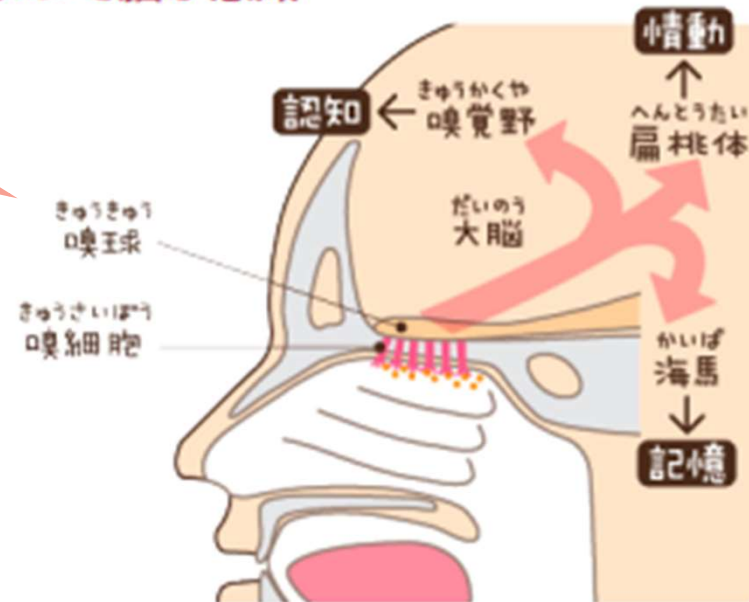


神経細胞（ニューロン）

■近年の傾向

清潔志向が高まり体臭に敏感になる風潮が広がっている。

においの感覚は、嗅細胞からの信号によって脳が感知



イラスト／加藤史絵

職場で気になるこんなにおい

タバコ臭

体臭

口臭

加齢臭

香水の
におい



柔軟剤の
におい



■化学物質過敏症

柔軟剤や香水などで、頭痛や吐き気などが誘発される病気です。化学物質への反応は個人差が大きく、あなたが大丈夫なものでも、隣の人は苦しんでいるかもしれません。

普段からできる対策

口臭	<ul style="list-style-type: none">・ガムやタブレットをかむ・食後の歯磨き・マスクを使用する・歯科、内科を受診する 
体臭	<ul style="list-style-type: none">・制汗剤を使用する・数時間後とに汗を拭く・空気清浄機を導入する・数時間後と換気をする 
加齢臭	<ul style="list-style-type: none">・数時間おきに濡れタオルやウェットシートで拭く <p>※加齢により皮膚の潤いが減り、 皮脂が過剰分泌されることで起こる</p>
タバコ臭	<ul style="list-style-type: none">・口臭ケアとともに、衣類へ消臭スプレーを使用する <p>※タバコには副流煙の問題もある</p>
香水・柔軟剤	<ul style="list-style-type: none">・TPOを意識する・使用量を守る

会社ができる対策とそのメリット・デメリット



	メリット	デメリット
社内規定に「スメハラ」についての項目を設ける	<ul style="list-style-type: none">・社員一人一人が規律を重んじるようになる・忠告しやすくなる	<ul style="list-style-type: none">・個人のプライバシーを掲げて反発される可能性がある・マニュアルでしか動けない社員の増加を招く恐れがある
「スメハラ」についての社内報を配る	<ul style="list-style-type: none">・困っている人がいることを周知できる・上手な伝え方を社員全員が学べる	<ul style="list-style-type: none">・社内報を作成する社員の労力と時間が必要・加害者は気がつきにくい可能性が残る
空調設備を充実させる	<ul style="list-style-type: none">・空気を循環させることで、被害が緩和される	<ul style="list-style-type: none">・設備投資のコストがかかる・加害者は気がつきにくい可能性が残る
相談窓口 or 担当部署を設ける	<ul style="list-style-type: none">・被害者が申し出しやすくなる	<ul style="list-style-type: none">・加害者の心情を深く考える必要がある